

人材開発支援助成金 事業展開等リスキリング支援コースの活用例

全国では以下のような活用例があります。

事業展開

徳島例



【自動車教習所】従業員数 8 名程 (中小企業)

高齢ドライバーの安全運転等への関心の高まりから、新たに、運転免許更新時における高齢者講習の事業拡大を図るため、社員に必須スキルとなる高齢者講習指導員の取得を目的とした講習を受講させる。

経費助成 = 1 人分受講料合計 × 75 %
賃金助成 = 1 人分合計時間数 × 960 円

事業展開

本省例



【製造業】従業員数 50 名程 (中小企業)

先端技術 (IoT や画像AI) を活用した安全監視のためのシステムを設計・開発・販売する事業所を立ち上げるため、AI の知識や機械学習の訓練を受講させることにより対応できる人材を育成する。

経費助成 = 4 人分受講料合計 × 75 %
賃金助成 = 4 人分合計時間数 × 960 円

DX化

本省例



【情報通信業】従業員数 500 名程 (大企業)

システムの基礎的な知識に始まり、アルゴリズムやデータ構造、データベース技術、ネットワーク技術及びWebページの知識習得のため、若手社員にIT総合研修を受講させる。

経費助成 = 20 人分受講料合計 × 60 %
賃金助成 = 20 人分合計時間数 × 480 円

DX化

本省例



【卸・小売業】従業員数 50 名程 (中小企業)

ロボット、AI、IoT、情報技術等の最新技術の習得に全社的に取り組むこととし、可能な限り多くの従業員に効率的な研修を実施するため、「サブスクリプション型」の講座を受講させる。

経費助成 = サブスク受講料合計 × 75 %

DX化

徳島例



【建設業】従業員数 30 名程 (中小企業)

測量受注の拡大に向け、ドローンを活用した測量作業に習熟した従業員の育成を目指し、ドローンの操縦技能や安全運航管理者資格の取得を目指した講習を受講させる。

経費助成 = 2 人分受講料合計 × 75 %
賃金助成 = 2 人分合計時間数 × 960 円

GX化

北海道例



【農業】従業員数 10 名程 (中小企業)

農薬の散布にトラクターを使用していたが、CO2等の温室効果ガスの排出をゼロにするため、ドローンを導入することにし、「農薬用ドローン認定講座」を受講させる。

経費助成 = 1 人分受講料合計 × 75 %
賃金助成 = 1 人分合計時間数 × 960 円

人材開発支援助成金「事業展開等リスキリング支援コース」の詳しい要件を記載したパンフレットや助成金の申請に必要な書類は、厚生労働省のホームページに掲載しています。どうぞご覧ください。

高知労働局助成金センター (088-878-5328)

